

豪州：トレーサビリティ＋消費者エンゲージメントへのGS1活用

CherryHill Orchards

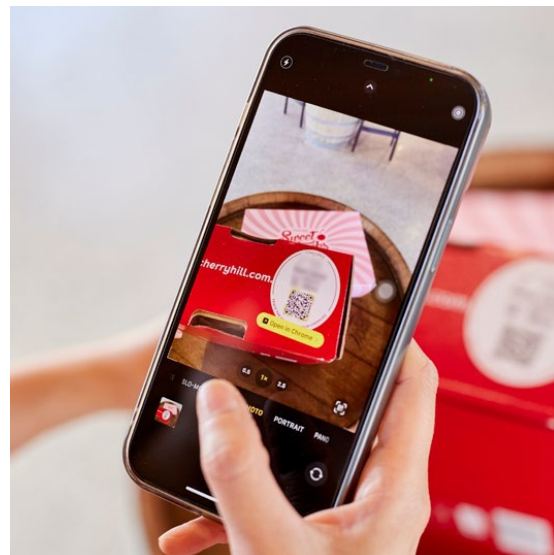
概要

- ▶ 豪州チェリーブランド（CherryHill Orchards）におけるトレーサビリティ可視化実証実験。
- ▶ 2022年はRFIDを活用したケースレベルのトレーサビリティシステム開発を行い、2023年は消費者販売単位ごとに個々のQRコードを表示し、生産者から消費者までのトレーサビリティシステムの構築と実証実験を行った。
- ▶ RFIDタグにはGTIN＋シリアルやSSCCが、GS1 Digital Link QRコードにはGTIN＋ロット＋シリアルがエンコードされている。

ポイント

- ▶ 本パイロットでのRFIDの読み取り精度は73.9-85.9%と課題の残る結果となったが、改善のための多くの選択肢も同時に明らかに。例えば、RFIDの種類や配置の最適化、もしくは再利用可能なRFIDやQRコードの使用などが、精度向上に貢献することが期待される。
- ▶ GS1 Digital Link QRコードの消費者スキャン率は7.22%だった。これは豪州で実践されているその他のGS1 Digital Linkスキャン率よりも高い（例：柑橘事例ではスキャン率1.43%）
- ▶ 実証実験期間中に合計21品目の偽造品がGS1 Digital Link QRコードのスキャンで発見されている。偽造品がスキャンされた場合は消費者のスマートフォンに警告メッセージが表示される。

商品に表示されたGS1 Digital Link QRコードを読み取る様子



豪州

チェリー

- ☐ 調査中
- ☐ 導入済み
- ☒ **パイロット**

- ☒ **QRコード**
- ☐ GS1データマトリックス
- ☐ その他

- ☒ **オープンな環境**
- ☐ クローズな環境

